

研究に参加される患者さんへ

当院では、以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、ご自身の試料・情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

研究題目	脳ドックデータベースによる脳卒中・認知症予防に関する研究
研究期間	2020年6月8日～2027年12月31日
対象患者	中村記念病院および北斗病院で脳ドック検診を受けた被験者のうち、脳ドックデータベースに登録された患者さん
対象期間	2000年1月1日～2022年12月31日
研究機関の名称	島根県立中央病院、社会医療法人 医仁会 中村記念病院、社会医療法人 北斗 北斗病院
実施診療科	脳神経外科
研究責任者	井川 房夫
意義・目的	人口の高齢化に伴い、我が国は認知症発症率が世界一高くなっています。脳卒中・認知症の予防に対しては、これまで教育歴、喫煙、運動習慣、高血圧、糖尿病、肥満、食事等が報告されていますが、我が国でのエビデンス(科学的根拠)はありません。一方、我が国では脳健康診査(脳ドック)が世界で唯一発展しており、脳卒中・認知症の発症前から発症まで大規模長期縦断的追跡調査できる環境にあります。また、これまで脳ドックデータベースによる脳卒中・認知症の予防の研究はされておらず、我が国の脳ドックデータの解析を行う必要があります。日本のみならず、世界中で人口の高齢化と共に脳卒中・認知症の発症が問題となっている今、これらの危険因子が明らかになり、予防法が確立されればその意義は大きいと考えます。
研究の方法 (試料・情報の利用方法・他施設からの提供を受ける方法を含む)	対象患者さんにおいて、「利用・提供を受ける試料・情報の項目」に示す情報について、社会医療法人 医仁会 中村記念病院および社会医療法人 北斗 北斗病院より当院へメールで提供頂きます。個人を特定できる情報は収集しません。 ①脳ドックデータベースより、脳卒中、認知症の頻度、MRI等検査の陽性率を検討します。 ②アンケートにより、脳ドック被験者のうち、脳卒中、認知機能障害 発症者を追跡し、脳ドック検査時所見、既往歴、生活習慣等の危険因子分析を行います。 (アンケートの依頼は郵送またはEメールにて行い、インターネット上で管理番号を付した上で無記名で質問事項に回答頂きます。アンケートにより得られた大規模データそのものは統計処理をして使用しますので、個人が特定されることはありません。)
利用・提供を受ける試料・情報の項目	年齢、性別、BMI値、BMI分類、MRI検査日、MRI施行回数、MRI装置(テスラ)、MRI検査異常有無、脳室周囲変化グレード分類(PVH Grade)、脳深部白質変化グレード分類(DSWMH Grade)、脳萎縮有無、MRI異常所見、MRA有無、MRA異常有無、脳動脈瘤有無、脳動脈瘤部位、脳動脈瘤サイズ、血管狭窄有無、血管狭窄部位、血管狭窄率、MRA異常所見、高血圧、高脂血症、糖尿病、うつ病、脳卒中有無、脳卒中種類、脳卒中発症日、神経所見有無、検診後脳ドック検診後、健康状態、新たに罹患した疾病、全ての入院加療、認知機能検査有無、認知機能障害の有無、改善した生活習慣、気をつけている食事、平均睡眠時間、ストレスについて等
個人情報の保護	当院における個人情報保護の基本方針に準じて行います。
結果の公表	投稿論文として公表する予定です。
備考	

***** お問い合わせ先 *****

島根県立中央病院

脳神経外科 井川 房夫

電話：0853-22-5111
